

「揖保川のこれからの川づくりに関する説明会」 (太子町)

概 要

日 時： 平成22年3月19日(金) 19:00～21:00

場 所： あすかホール(太子町文化会館 2階 研修室)

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会（太子町）

- 日時：平成22年3月19日(金) 19:00～21:00
- 場所：あすかホール（太子町文化会館） 2階 研修室
- 出席者：一般参加者52名

1. 今回の議題について

河川管理者より以下の項目についての説明が行われた。

議題 ①河川整備計画と揖保川流域委員会について②揖保川水系河川整備計画（原案）の構成について、③整備計画における治水対策メニューについて

2. 意見交換

住民の方からの主な意見と河川管理者からの回答は以下のとおりである。

【住民1】（栗原市在住）

- 昨年の台風9号災害によって、各地域で土砂が流出されるということで掘削することがあげられているが、掘削だけのその場しのぎの対策でよいのかお聞きしたい。

→（河川管理者による回答）

- 洪水への対策は、色々なメニューが考えられる。安全性を高めるため全て実施したいが、環境面や実現性（予算を含む）などを検討した計画である。

- 河床がかなり下がっている。昔の揖保川のような環境面の中で配慮した形を考えていただきたい。

→（河川管理者による回答）

- 河床が下がっているところもあれば、河床が上がっているところもある状況である。できれば昔の川になるよう取り組んでいきたい。河川工事における環境の配慮ということで、冠水するところ、陸地になるところを完全に分けられないような掘削の仕方で行っていききたい。

- 地域住民がもう少し自然（河川）の中で遊べるような築堤作りをお願いしたい。

→（河川管理者による回答）

- この地域はこういう形で使いたいということはある程度決めた上で、地元の自治体とどのような形の利用をするのか決めて、計画が決まれば整備計画の中に位置づけて整備を行っていく。

- 整備計画として30年計画と言われているが、それで本当によいのかお聞きしたい。上下流一緒に集中豪雨が起きた場合など想定して、30年後じゃなくて20年後に整備するなどいろんな形の中で考えていただきたい。

→（河川管理者による回答）

- 中期的な目標ということで30年を目標にしている。計画を策定したら30年経たないと整備をしないということではない。社会情勢、経済情勢、地域の方々のニーズをとらえながら30年計画を立てるが、5年10年の情勢で見直して考えていく。

【住民2】（たつの市在住）

- たつの市祇園橋の下流右岸側と竜野大橋の上流左岸側にグラウンドがある。昨年のお水害でここに相当砂利が流れてきた。資料に書いてある「下流で安全に流下させられる」ということに対してどういう具合に考えればよいのかお聞きしたい。

→（河川管理者による回答）

- 安全に流下させられるということは、昭和51年とまったく同じ雨が降った場合、揖保川本川の水が堤防からこぼれずに流下できることをシミュレーションでチェックしているということである。

-
- 「H21.8 出水対応の掘削メニューを追加した計画において」と書いてあるが、これとの関連はどういうことかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 昭和 51 年出水対応の対策に加えて、上流部で追加の掘削を今回の整備に位置づけているので、それを行っても昭和 51 年と同じ出水があっても下流では安全に流下できるということである。

【住民 3】(姫路市在住)

- 王子橋の左岸、下流側はコンクリートで補強しているが、上流はコンクリートを張っていないのはどうしてかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 下流部は過去に被災した時に護岸を整備したと思う。上流側は比較的川幅もあり、今のところは支障がないと考えている。しかし洗掘等の被害をうければ、護岸を整備するなど、対応していく。

- 王子橋の左岸、下流の方でコンクリートと堤防の間のコンクリートがはがれて草が生えている。昭和 51 年出水の時には、上川原地区で水が吹き出したこともある。

→ (河川管理者による回答)

- (護岸などの) 補修については大事だと思っており、現地を確認する。堤防付近から水が出ている件については、堤防に染みこんだ水が速やかに抜けるような対策を考えている。もし、堤防の裏から水が吹いたりしたら、事務所か出張所にご連絡いただきたい。

- 以前、王子橋下流の中州を整備するということで、公園化という意見が出ていたがどうなっているのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 民地がかなり残っている。今の状態では用地買収まで及んでいない。どのような公園にするのか市と話をしながら、進めないといけない。具体化すれば整備計画に載せていく。

- 上川原地区にも公園があるが、草の生えるのが早いので、盛り土できないものかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 基本的には高水敷等の公園は自治体が占有している。占有者である市と協議しながら対応していく。

- 蟠洞川の千本松のところに水門があり、洪水のときは水門を閉める。すると太子町の方から水がきて小学校付近が洪水状態になって避難することがあった。その対策はできないかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- 本当に困っているのは市から聞いている。兵庫県、姫路市と改修をどうしていくのか、右岸と左岸の高さが違うところ、水管橋をどうやっていくのかある程度見えてこない計画に書けないが、課題として認識している。行政と地域の皆様と議論させていただいて、見えた段階で計画に示していく。

【住民 4】(姫路市在住)

- コンクリートばかりでなく、環境に配慮した河川整備というのを今一度力を入れて、市も自治体の方にもお願いをしながら進めていただきたい。

→ (河川管理者による回答)

- 環境への調和は、しっかり念頭におきたい。具体には環境上重視しているところ、例えば、十二津波を全部削ることはないことや、平見地区のカワラバハコといった絶滅危惧種を保全することがあげられる。環境上の重要性を念頭に置きつつ、掘削も少しずつ様子を見ながら対処していく。

【住民5】(太子町在住)

- 治水と同じく治山も大事な話ではないか？

→ (河川管理者による回答)

- 河川管理者も治水の観点から参画しながら、川林を保全することも河川整備計画に書き込んで行く方向で考えている。

- 「掛保川せせらぎだより」を32号まで持っているが、それ以降配布がなくなって手元にない。どこがどういう配布の方法をとっているのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

- せせらぎだよりは以前は自治会を通じて配布や新聞折込をしていたが、費用の面や自治会の負担が大きいといった意見があり、今は市役所やその支所の窓口においていただいている。また小、中学校でも生徒に持ち帰ってもらっている。委員会資料も含めてインターネットで見れるようにもしている。姫路河川国道事務所、出張所にお電話いただいたらお渡しできるようにする。

【住民6】(太子町在住)

- JR 山陽本線の上流、下流あたりに柳の木がいっぱい生えている。一度伐採してみてもどうか。

→ (河川管理者による回答)

伐木は治水上の目的や管理上の目的で環境に配慮しつつ、掛保川についてはここ数年順次行っている。再度調査しながら計画的に行っていきたい。

- 底を掘る計画について、掛保川の漁業組合との関係はどうなっているのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

河道内については十分調整を図る。今年度災害復旧で行う掘削については基本的には平水時より上の部分を考えている。護岸が崩壊したところについては調整を図りながら行う。

【住民7】(太子町在住)

- 豊堤は水理学的にはどの程度までもつのかお聞きしたい。

→ (河川管理者による回答)

実験は何回かされている。豊堤は波の高さの部分だけ、上の部分のしぶきがあがるようなところを豊にしている。意図としては、景観保全、水防意識の醸成ということで適切に維持運営しなければならぬと考えている。

以 上